



校長先生からのメッセージ

「豊かな人間性を育み、強くまじめに明るく生きぬく子どもを育てる ～自分の考えや思いを自分の言葉で話すことができる～」を学校教育目標として、教職員一同一丸となって、教育活動を推進しています。子ども一人一人のもてる「力」や個性、可能性を伸ばし、豊かな人間性を育む教育活動を展開していることが、本校の特長です。望ましい人間関係を構築し、めまぐるしく変化する社会の中で、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、担っていく力を身につけてほしいと願っています。

● 学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- ・学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において不登校児童の在籍比率を前年度より減少させ、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・令和6年度末の児童アンケートで「学校は楽しいですか」の質問に肯定的に答える児童の割合を全学年85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。
- ・学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ・学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・学力経年調査における「理科の授業の内容はよくわかりますか」に対して最も肯定的な「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」と回答する児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上にする。
- ・ゆとりの日を週1回設定する。

● 令和5年度全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数
学校	69	64
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

令和5年度全国学力・学習状況調査において、国語科の平均正答率は69%で、大阪市を3ポイント全国を1.8ポイント上回った。算数科は64%で、大阪市を2ポイント全国を1.5ポイント上回った。また、「国語の授業の内容はよくわかりますか」の質問に肯定的に回答している児童が全市・全国を上回っている。本校ではこれまで、「言語力の育成をめざした国語科指導のあり方」を通して、主体的に考え、話し合うことができる学習活動を柱に研究を進めてきた。どの教科においてもこの学習活動を行っていき、さらに楽しく、主体的な学びを生み出す学習を展開していきたい。

● 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	14.68	12.39	32.62	38.53	42.97	9.73	133.68	21.21	48.55
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.71	13.29	37.78	40.92	34.83	9.57	131.72	13.93	52.32
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

体力合計点は、大阪市平均と本校児童では約1.5ポイント下回る結果となっている。特に、上体起こしや立ち幅とびの結果では、全国平均と比較しても大きくポイントを下回っている。そこで、運動に親しむために、体育科の授業以外でも「なわ跳び週間」「かけあし週間」や「スポーツテスト週間」を設け、全校で運動に取り組んでいく。さらに、淀川区子どもスポーツ出前講座の「水泳指導」「走り方指導」や「なわ跳びにチャレンジ」等を活用し、運動技術の向上にも積極的に取り組み、子どもたちの体力運動能力の向上を目指していく。

塚本の教育のキャッチフレーズ

- つ … 「つながる」
子ども同士がつながる。
学校・家庭・地域・関係諸機関がつながる。
- か … 「(自ら)かんがえる」
- も … 「もち味を活かす」
- と … 「トライする」



◆めあてに向かって努力する「生きる力」の育成

教育活動においてのそれぞれの場面で目標を設定し、それぞれの子どもがその目標をめざして進む「見通し—振り返り」学習活動を展開しています。主体的な学習態度を育成するため、学年の発達段階に応じて、「めあてをもつ—活動する—振り返る」という授業を展開しています。振り返りの場では、学習のまとめにおいて「めあて」を振り返り、次時の学習における「めあて」や課題の設定、追求の方法を考えます。子ども達の「生きる力」につながるよう教育活動を積み重ねています。

◆たてわり班の仲間づくり・望ましい人間関係づくり

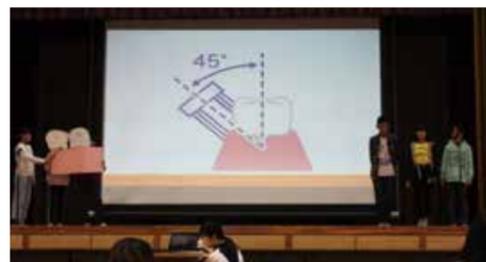
1年生から6年生までの全560名の子どもたちが、18のたてわり班に分かれて、学校全体の仲間づくりをめざしています。たてわり班での活動は、それぞれの児童が自主的自発的にリーダーシップとフォロワーシップを発揮しながら、集団で活動する環境づくりを体得していく場です。この異学年とのふれあいの場において、成就感や満足感を味わい自分自身の有用性を感じることができると、自尊感情が高まることにも繋がっています。



給食後の歯みがきが習慣化

給食終了後、一斉に歯みがき活動を行います。クラスの友達とみんなで順序よく歯をみがくことで、習慣化しています。教室での歯みがき活動は、子ども達が自主的にリードし、順序などを伝え、進んで取り組んでいます。食後の歯みがきを通して、自ら歯や口腔の健康を守る態度が身につきます。歯ブラシを正しく持って、みがきにくいところを工夫してこうという気持ちが高まっています。

健康委員会の児童がリーダーシップを発揮して、健康保持増進のために歯みがきリーダーを務める「わっはっは活動」も展開しています。



◆体力向上の取り組み

なわとび週間やかけ足週間など子どもたちの体力向上のために様々な取り組みを行っています。おこなわ週間では、各学級で跳べた回数を競い合っており、体力の向上に努めています。



塚本小
QRコード

